

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		依存症対策推進事業		事業番号	
				011-275	
担当部署名		健康福祉	局	健康	部
				精神保健	
				課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6) 暮らしを支えるセーフティネットの構築		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤ 依存症対策の強化				
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—				
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—		
		施策との関連	有	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.5		
		寄与するKPI	有	取組	薬物、アルコール、ギャンブル、ゲームなどの依存症対策の推進				
		有・無	指標名	—					
		無	現状値	—	目標値	—			
2 関連計画									
3 事業開始年度		令和 2 年度		点検対象年度		令和 7 年度			
4 実施根拠		アルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法、依存症対策地域支援事業実施要綱							

事業の概要

5 事業の実施主体	本庁、各区、出先機関		
6 事業の対象	依存症で悩む市民、及び依存症となるリスクのある市民、その他市民	対象数	単位
		—	—
7 事業の目的	依存症に関する知識の普及啓発を行い、予防もしくは重症化の予防をめざすと同時に、状況やニーズに応じて、依存症に関する相談、受診、自助グループの利用ができるようになる環境整備をめざす。		
8 事業内容	①アルコール依存症関連問題啓発週間における啓発事業 ②ギャンブル等依存症問題啓発週間における啓発事業（大阪府、大阪市との共同事業） ③行政機関及び医療機関向けの依存症に関する研修事業（大阪府、大阪市との共同事業） ④依存症治療拠点、専門医療機関選定 ⑤堺市域版OACミニフォーラムの開催（年1回） ⑥依存症対策推進懇話会の実施（年2回程度） ⑦依存症対策庁内連絡会の実施（年2回程度）		
	※国・府の基準より上回って実施した内容		
9 主な支出先	大阪府（大阪府・大阪市との共同事業の負担金）		
10 公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	依存症地域支援計画に基づく依存症対策の総合的な推進					
	当該目標を設定した理由	懇話会等からの意見も聴取しつつ、依存症対策にかかる普及啓発事業や、地域連携事業等を計画的に遂行するため。				
	目標に対する実績	依存症対策推進懇話会を2回実施。堺市域版OACミニフォーラム（交流会）の実施。				
12	活動指標	単位	実績		目標	
	依存症支援者研修事業受講者数（R7度より地域連携事業（依存症ミニフォーラム）参加者数）	人	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	20	20	40
			実績値	4	4	
	達成率	20%	20%			
当該指標を選定した理由	社会資源として医療機関や相談機関を増加させ、市民が受診や相談をしやすくなることが必要であるため。なお、本指標は令和6年度で終了。令和7年度以降は、地域連携事業（依存症ミニフォーラム）の参加者数に変更する予定。					
目標値の設定根拠・算出方法	研修受講者数。（R7年度以降は、参加者数）					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	依存症対策推進事業	事業番号	011-275
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。

（単位：千円）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	472	651	1,907	1,555	5,480
13 財源内訳					
国支出金	236	317	932	755	2,719
府支出金	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0
その他 ()	0	0	0	0	0
受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
一般財源	236	334	975	800	2,761
14 人件費 (b)	8,225	6,885	6,277	6,690	7,080
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	8,697	7,536	8,184	8,245	12,560

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
謝礼金	R6 決算	170	85	依存症対策に関する市民意識実態調査業務委託料	R6 決算	0	0
	R7 予算	390	195		R7 予算	3,414	1,707
普通旅費	R6 決算	45	45		R6 決算		
	R7 予算	40	40		R7 予算		
消耗品費	R6 決算	54	27		R6 決算		
	R7 予算	50	26		R7 予算		
通信運搬費	R6 決算	12	6		R6 決算		
	R7 予算	47	23		R7 予算		
依存症対策事業負担金 (啓発、研修)	R6 決算	1,274	637		R6 決算		
	R7 予算	1,539	770		R7 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和5年度	令和6年度
① 依存症研修受講者数	人	2	4
② 上記①にかかる年間経費	千円	731	850
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	365,500	212,500
算出についての説明等		依存症地域支援者研修事業（大阪府、大阪市との共同事業）に係る負担金及び人件費を計上。	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和4年3月に堺市依存症地域支援計画を策定し、依存症の専門医療機関や相談機関の充実を目標に、大阪府、大阪市、堺市が共同で啓発及び研修を実施している。依存症の社会資源は広域にあり、参加者人数だけで評価できないものの、堺市域からの研修参加者は少ない状況が続いた。そのため、共同実施の本研修は今年度で終了し、国実施の研修や庁内他部署の主催研修への受講を促すことで、依存症への対応ができる人材養成につなげる。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>基本計画2025では、重点戦略の（6）暮らしを支えるセーフティネットの構築「依存症対策の強化」を掲げている。令和4年3月に「堺市依存症地域支援計画」を策定し、専門医療機関の充実や、関係機関等の連携の場を創設することなどを目標として掲げた。その中で、依存症支援体制の構築の一環として、令和6年度も堺市域版OACミニフォーラムを開催し、支援者への依存症に関する知識の普及や、交流会を通じての顔の見える関係性の機会として取り組み、参加者数も増加した。計画は令和4年度からの5年計画であり、進捗管理も行うことから、2025年時点での改善点を確認できるようになっており、取組の方向性に合致している。</p> <p>また、各依存症のなかでもアルコール依存症は、市民にとって最も身近であり、アルコールの習慣的で過剰な摂取や、依存症の状態になることは、肝臓病やがんなどの身体疾患、不眠症、うつ病になるリスクが増大する。うつ病は自殺における大きなリスク要因であることから、予防や医療的、福祉的な支援が必要である。このように依存症と自殺との関連性は深いことから、「堺市依存症地域支援計画」においても、自殺対策を盛り込んでおり、堺市基本計画2025における「自殺死亡率14.2の達成」にむけて寄与したと考える。</p>
----	---